

## 口腔外科学（診療の基本 - ）

4 年次 前学期	授業科目責任者：伊藤 孝訓（歯科総合診療学） ユニット責任者：秋元 芳明（口腔外科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	日常の口腔外科臨床に直結する頭頸部の診察法、抜歯・顎顔面領域の損傷の診断法、治療法、予後および歯肉粘膜の切開・縫合法について理解する。
授業担当者	口腔外科学：秋元芳明、西村 均、田中茂男、*林 裕、*渡部正吾、*柴田朝美、*内堀健二、*田所英之、*中山桂二、*石井達郎、*中野裕理、*小俣裕昭 顎顔面外科学：近藤壽郎、神野良一、伊藤 耕、藤本陽子、武田祥人、*岩寄 修、*秋葉正一、*坂田勝之、*樋口和夫、*湊 耕一、*出口 晃、*酒巻裕之、*釜崎直人、*菅谷和之、*村井正彦、*斎藤謹子、*田中文丸、*泉 竜爾、*牧野貴文、*野上俊雄、*戸邊真季子 頭頸部外科学：牧山康秀、丹羽秀夫
教科書	口腔外科学第4版（泉廣次編集、学研書院） 口腔外科学実習書（日本大学松戸歯学部口腔外科学講座編）
参考図書	最新口腔外科学（塩田重利等監修、医歯薬出版） 口腔顎顔面疾患カラーアトラス（道健一監修、末永書店） 図説口腔外科手術学（大谷隆俊等編集、医歯薬出版） 顎口腔外科診断治療大系（内田安信等編集、講談社）
実習器材	模型、フック付Oシーネ2本、顎間固定用歯牙結紮線。
評価方法 (EV)	成績評価は平常試験（50%）、実習製作物・口答試験（50%）、さらに授業・実習態度（出席状況も含む）等を加味し、総合的に判断し、最終評価とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	日常の口腔外科臨床に直結する頭頸部の診察法、抜歯・顎顔面領域の損傷の診断法、治療法、予後および歯肉粘膜の切開・縫合法について理解し、基本的知識、技量を修得することは、オスキーおよび臨床実習に備え重要なことである。予習、復習を十分に行い、知識、技量の修得をしていただきたい。6月7日（10:00-10:50）は平常試験とし、筆記形式の試験を行います。講義、平常試験および実習オリエンテーションは302教室にて行います。実習は第4実習室にて行います。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月5日(木) 2時間 10:00～11:50	講義1： 局所麻酔 浸潤麻酔法 伝達麻酔法	【準備学習項目】 局所麻酔法である浸潤麻酔法、伝達麻酔法について説明できる。 【講義】 局所麻酔法の対象である三叉神経 枝、枝の走行を理解し、局所麻酔法の種類、手技を概説できる。さらに、局所麻酔薬、血管収縮薬の種類、特徴を説明できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-1-3)-(3)- 必-14-J-a 総-( )-8-A	西村均
4月12日(木) 2時間 10:00～11:50	講義2： 抜歯学 抜歯一般 単純抜歯	【準備学習項目】 抜歯法について説明できる。 【講義】 抜歯を行う上での適応症、禁忌症、術中術後に発症する偶発症を理解し、概説できる。 単純抜歯に用いられる器具器材の特徴を理解し、患者管理から終了までの手順、術式を概説できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-1-4)- 必-14-M-a	同上
4月19日(木) 2時間 10:00～11:50	講義3： 抜歯学 複雑抜歯 埋伏歯の抜歯 切開・縫合法	【準備学習項目】 抜歯法および切開・縫合法について説明できる。 【講義】 複雑抜歯の定義および使用される器具器材の特徴を理解し、患者管理から終了までの手順、術式を概説できる。 埋伏歯の定義、一般的所見および使用される器具器材の特徴を理解し、患者管理から終了までの手順、術式を概説できる。さらに、継発症を説明できる。 切開法および縫合法の基礎を理解し、その術式を述べることが出来る。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-1-4)- F-1-4)- 必-14-M-a 総-( )-7	西村均 石井達郎

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者	
4月26日(木) 2時間 10:00～11:50	講義4: 顎・口腔の損傷 損傷総論 歯の外傷	【準備学習項目】 損傷の総論および歯の外傷について説明できる。 【講義】 損傷の原因、分類、症状、創傷の治癒過程を理解した上で治療方針および後遺症について概説できる。 歯の外傷の特徴、分類、臨床症状を理解し、診断および治療方針を概説できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 総-( )-1-D 総-( )-2-H 各-( )-1 各-( )-5-A,C	田中茂男	
5月10日(木) 2時間 10:00～11:50	講義5: 顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折1	【準備学習項目】 顎顔面骨の骨折について説明できる。 【講義】 顎顔面骨折の分類、原因、頻度、全身の合併症および好発部位を理解し、概説できる。 顎顔面骨折の局所症状および局所症状のひとつである骨片の偏位を理解し、診断法を概説できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 各-( )-2 各-( )-5-D,G	同上	
5月17日(木) 2時間 10:00～11:50	講義6: 顎・口腔の損傷 顎顔面骨の骨折2	【準備学習項目】 顎顔面骨の骨折について説明できる。 【講義】 顎顔面骨折の局所症状および局所症状のひとつである骨片の偏位を理解し、診断法を概説できる。 顎顔面骨折の診断法を理解し、症例に応じた診断法および治療法を概説できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 各-( )-2 各-( )-5-D,G	同上	
5月24日(木) 2時間 10:00～11:50	講義7: 顎・口腔の損傷 顔面・口腔軟組織の損傷	【準備学習項目】 顔面・口腔軟組織の損傷について説明できる。 【講義】 顔面・口腔軟組織損傷の特徴、症状、診断法を理解し、治療法を概説できる。 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。 F-2-4)-(1)- 各-( )-3 各-( )-5-E	同上	
5月31日(木) 2時間 10:00～11:50	講義8: 頭頸部の診察  実習オリエンテーション	【準備学習項目】 頭頸部の診察法について説明できる。 【講義】 頭頸部の診察は、顔面、頭部、耳、眼、鼻腔、口腔、頸部の部位に視診、触診、聴診または各々に器具を使用することにより行われ、診察の意義、目的を理解し、診断を行う上での適切な診察法を述べるができる。 F-1-1) 実習オリエンテーション 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。	牧山康秀 秋元芳明 西村均 顎顔面外科学	丹羽秀夫 近藤壽郎 口腔外科学
6月7日(木) 2時間 10:00～11:50	平常試験 実習オリエンテーション	筆記試験 実習オリエンテーション 302教室での教員による教科書、マルチメディア、プリントを使用した講義。	西村均 秋元芳明 口腔外科学 顎顔面外科学	田中茂男 近藤壽郎
6月14日(木) 2時間 10:00～11:50	実習1: 頭頸部の診察  単純拔牙 1.単純拔牙に必要な器具器材	【準備学習項目】 頭頸部の診察法について説明できる。 【実習】 頭頸部の診察は、顔面、頭部、耳、眼、鼻腔、口腔、頸部の部位に視診、触診、聴診または各々に器具を使用することにより行われ、診察の意義、目的を理解し、診断および治療を行うために必要な技能、態度を習得する。 第4実習室にて相互に実習を行う。 単純拔牙に必要な器具器材について説明できる。 単純拔牙に必要な器具、器材の名称と使用方法を理解し、各歯の拔牙に必要な器具器材を選択、準備することができる。 第4実習室にて単純拔牙に必要な器具器材、マネキン、顎模型を使用して実習を行う。 F-1-1) F-1-3)-(3)- F-1-4)- 必-14-M-a 総-( )-1-D 総-( )-7-A-c,d 総-( )-8-A	秋元芳明 西村均 顎顔面外科学	近藤壽郎 口腔外科学

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月21日(木) 2時間 10:00 ~ 11:50	実習2: 単純拔牙 2. 単純拔牙の手順(術式)	【準備学習項目】 単純拔牙の手順・術式について説明できる。 【実習】 患者の対応、手指・術野の消毒、局所麻酔法、単純拔牙の基本術式を理解し、滅菌手袋の装着、マネキンおよび顎模型上で局所麻酔法、単純拔牙の手技を習得する。 第4実習室にて単純拔牙に必要な器具器材、マネキン、顎模型を使用して実習を行う。 F-1-3)-(3)- F-1-4)- 必-14-M-a 総 - -( )-1-D 総 - -( )-7-A-c,d 総 - -( )-8-A	秋元芳明 近藤壽郎 西村均 口腔外科学 顎顔面外科学
6月28日(木) 2時間 10:00 ~ 11:50	実習3: 結紮線を用いた歯・顎骨固定法 1. いわゆるバルカン法による顎内固定法 2. 2歯結紮法および2歯結紮法による顎間固定法	【準備学習項目】 結紮線を用いた歯・顎骨固定法について説明できる。 【実習】 歯の脱臼、小範囲の歯槽骨骨折に適應されるバルカン法の手技を習得する。 比較的簡便な顎骨固定法である2歯結紮法の手技を習得する。 第4実習室にてマネキン、顎模型を使用して実習を行う。 F-2-4)-(1)- 各 - -( )-1,2 各 - -( )-5-A,C,D,G	秋元芳明 近藤壽郎 西村均 口腔外科学 顎顔面外科学
7月5日(木) 2時間 10:00 ~ 11:50	実習4: 結紮線を用いた歯・顎骨固定法 3. フック付Oシーネによる顎間牽引整復法、顎間固定法 フック付Oシーネの結紮固定	【準備学習項目】 結紮線を用いた歯・顎骨固定法について説明できる。 【実習】 顎骨骨折治療の目的と治療法を理解し、フック付Oシーネによる顎間牽引整復法、顎間固定法の手技を習得する。 第4実習室にてマネキン、顎模型を使用して実習を行う。 F-2-4)-(1)- 各 - -( )-2 各 - -( )-5-D,G	秋元芳明 近藤壽郎 西村均 口腔外科学 顎顔面外科学
7月12日(木) 2時間 10:00 ~ 11:50	実習5: 結紮線を用いた歯・顎骨固定法 4. フック付Oシーネによる顎間牽引整復法、顎間固定法 牽引整復および顎間固定	【準備学習項目】 結紮線を用いた歯・顎骨固定法について説明できる。 【実習】 顎骨骨折治療の目的と治療法を理解し、フック付Oシーネによる顎間牽引整復法、顎間固定法の手技を習得する。 第4実習室にてマネキン、顎模型を使用して実習を行う。 F-2-4)-(1)- 各 - -( )-2 各 - -( )-5-D,G	秋元芳明 近藤壽郎 西村均 口腔外科学 顎顔面外科学
7月19日(木) 2時間 10:00 ~ 11:50	実習6: 切開・縫合法 1. 切開・縫合に必要な器具器材 2. 切開法 3. 縫合法 4. 抜糸(糸切り)	【準備学習項目】 切開・縫合法について説明できる。 【実習】 切開・縫合に必要な器具、器材の名称と使用方法を理解し、切開・縫合に必要な器具器材を選択、準備することができる。さらに、歯肉粘膜、皮膚の解剖学的特徴を理解し、切開・縫合法の手技を習得する。 第4実習室にて切開・縫合に必要な器具器材、オペガムシートを使用して実習を行う。 F-1-4)- 総 - -( )-7	秋元芳明 近藤壽郎 西村均 口腔外科学 顎顔面外科学